



自らまとめた資料でプレゼンする乗田さん

## メロンの輸出展開に意欲

木造高校3年の乗田翔也さんが12月19日、同校に福島市長らを招き、市のPRに向けたプレゼンテーションを行いました。乗田さんは、授業の一環でつがるブランドメロンの輸出について研究しており、30年7月には香港を訪れ試験販売とアンケートを実施。続いて8月、9月には204玉（34箱）を輸出しました。その結果、小ロットでの出荷は利益確保が難しいとした上で、1玉2,700円での販売を提案。香港の日本料理店のメニューに加えられた実績を紹介し、スイーツ店などにも売り込めるとしました。

福島市長は「本格的な輸出には課題が出てくると思うが、生産者の所得や意欲の向上につながる」と講評しました。

## 餅つきで地域との交流深まる

12月19日、航空自衛隊車力分屯基地で、餅つき行事が行われました。この日は、車力小5年生と地域住民、米軍車力通信所の関係者ら約180人が、末広がり縁起がいいとされる「八」回ずつ餅をつき、交流を深めました。

餅つき後の食事会では、あんこ餅や雑煮のほか、基地のオリジナル昼食メニューである市産リンゴのソースで仕上げた「空上げ（から揚げ）」が振る舞われました。

基地に初めて足を踏み入れた小山内希龍君は「中が広くてわくわくした。力強く餅つきできた」と笑顔。川廣佳親基地司令は「地域住民・米軍・自衛隊の連携意識が高まっていると感じる。来年もいい関係を続けたい」と話していました。



隊員と一緒に餅をつく児童



福島市長らに力強く質問する児童

## こども議会、力いっぱい質問

「つがる市こども議会」が12月26日、市議会本会議場で行われました。これは、子どもたちにまちづくりへの関心を深めてもらおうと開かれるもので、平成18年の中学生議会に続き2回目となります。議場には、市内8小学校から6年生16人が参加。2人が議長と副議長役として議事進行を務め、14人の議員らが、産業振興や教育などまちづくりに関する疑問を福島市長らに直接問いました。最初に質問席に立った半田美月さん（向陽小）は「議場の雰囲気緊張した。つがる市では私が知らないすごいことをやっているのがわかってよかった」と振り返りました。こども議会については、市議会だより第59号（2月14日発行）にも掲載しています。

## 図書館でスウィング「Jazz Reading」開催

市立図書館で12月25日、つがる市立図書館友の会ジャズ実行委員会（川嶋大史会長）が「クリスマスジャズリーディング」を開催。ドラマーの葛西和明さん（木造）ら県内のジャズ奏者4人が、来館者にクリスマスソングをプレゼントしました。

12月の休館日を利用して昨年から開かれているコンサート。この日は、聖夜にちなんだ曲や定番のジャズソングなど11曲が生演奏され、館内には音楽に聞き入る人やリズムに乗りながら読書を楽しむ人が見られました。

また、今年は市内の園児ら約70人を招待し、絵本の読み聞かせ会も開催。読み聞かせの後は「あわてんぼうのサンタクロース」をみんなで歌って盛り上がりました。



ライブハウスと化した図書館内

## FCトゥリオールニがフットサル東北制覇

五所川原サッカー協会（高橋弘行会長）に所属するクラブチーム・FCトゥリオールニが、11月17日、18日に行われたJFA全日本U-15フットサル選手権東北大会（郡山市）で優勝し、1月12日から三重県で開催される全国大会への出場権を獲得。大会を前に12月26日、市内在住のメンバーである高橋伯君（木造中3年）、工藤匠渡君（森田中3年）、倉本昌平君（柏中3年）らが、福島市長に全国大会出場を報告しました。

東北大会では、昨年敗れたチームを下して決勝に進出。決勝は、一時リードを許す厳しい戦いとなりましたが、終盤で逆転に成功し、見事初優勝を飾りました。主将を務める高橋君は「東北の代表として全力でプレーする」と抱負を語りました。



（左2人目から）高橋会長、工藤君、高橋主将、倉本君、高橋コーチ、横嶋コーチ



年頭のあいさつを述べる福島市長

## 実り多きすばらしい一年に

「つがる市新年祝賀会」が1月4日、松の館で開催され、市民ら約220人が平成最後となる新春の門出を祝いました。福島市長は「次世代に繋げるまちづくりに向け全力で取り組みます」と年頭のあいさつ。特に4月開設の「つがる市東京事務所」を拠点とした情報収集や情報発信に力を込めました。

祝賀会には多くの来賓も出席し、木村次郎衆議院議員と田名部匡代参議院議員、三橋一三県議会議員が祝辞。宮本純一商工会長の発声で盛大に乾杯したあと、出席者は新年のあいさつを交わしていました。

また、ステージでは童謡「蕾の会」による合唱が美しいハーモニーを響かせ、式典に花を添えました。

## 一年の無事故を祈願

つがる地区交通安全協会（片山徳明会長）は1月7日、今年一年の交通事故ゼロを祈る交通安全祈願祭を三新田神社で行いました。

祈願祭には福島市長、古川昭治つがる警察署長をはじめ、つがる地区安全運転管理事業主会、安全運転管理者協会、交通安全母の会連合会、地区交通指導隊の代表者ら20人が出席。菅井宮司の祝詞奏上に続き、参加者は交通安全を願いながら神前に玉串をささげました。

最後に片山会長は「昨年の悲惨な事故は記憶に新しい。悲劇を繰り返さないよう、関係団体と連携を密にして交通安全運動の強化に努めていく」とあいさつしました。



玉串拝礼する片山会長



感謝状を受け取る受賞者

## 警察業務への協力に感謝

1月15日、松の館で平成30年警察協力功労者感謝状贈呈式が開催され、地域での捜査活動や防犯活動などに貢献した市内の4団体、個人6人に感謝状が贈られました。

式では、古川昭治つがる警察署長が出席者一人一人に感謝状を手渡し「心から敬意と感謝を表します。市民に愛される力強い警察署を目指し、市の安全・安心に取り組んでまいります」と式辞を述べました。また、8人の優良警察職員も表彰されました。

警察協力功労者は次のとおりです（敬称略）。

団体＝株式会社伊藤鋳業、北澤新聞販売店、三浦食堂、車力漁業協同組合 個人＝兼平裕、川村雅己、木村光雄、熊谷敏、佐藤傳、神武美